

わかりやすい 藤沢市の財政

2018

平成30年度予算と平成28年度決算から
藤沢市の財政状況を見てみよう



「キュんとするまち。藤沢」
公式マスコットキャラクター
ふじキュン♡

藤沢市の財政状況を
わかりやすく
解説しました。

藤 沢 市



- もくじ
- 1 みんながわかる財政のはなし(入門編)… 1
 - もっと知りたいあなたに
 - 2 平成30年度予算を見てみよう …… 7
 - 3 平成28年度決算を見てみよう …… 12
 - 4 藤沢市の借金はどうなっているの?…… 17
 - 5 藤沢市の貯金はどれくらい?…… 21
 - 6 これから先の藤沢市の財政は?…… 22
 - 7 財務書類4表でわかる藤沢市の財政状況… 23

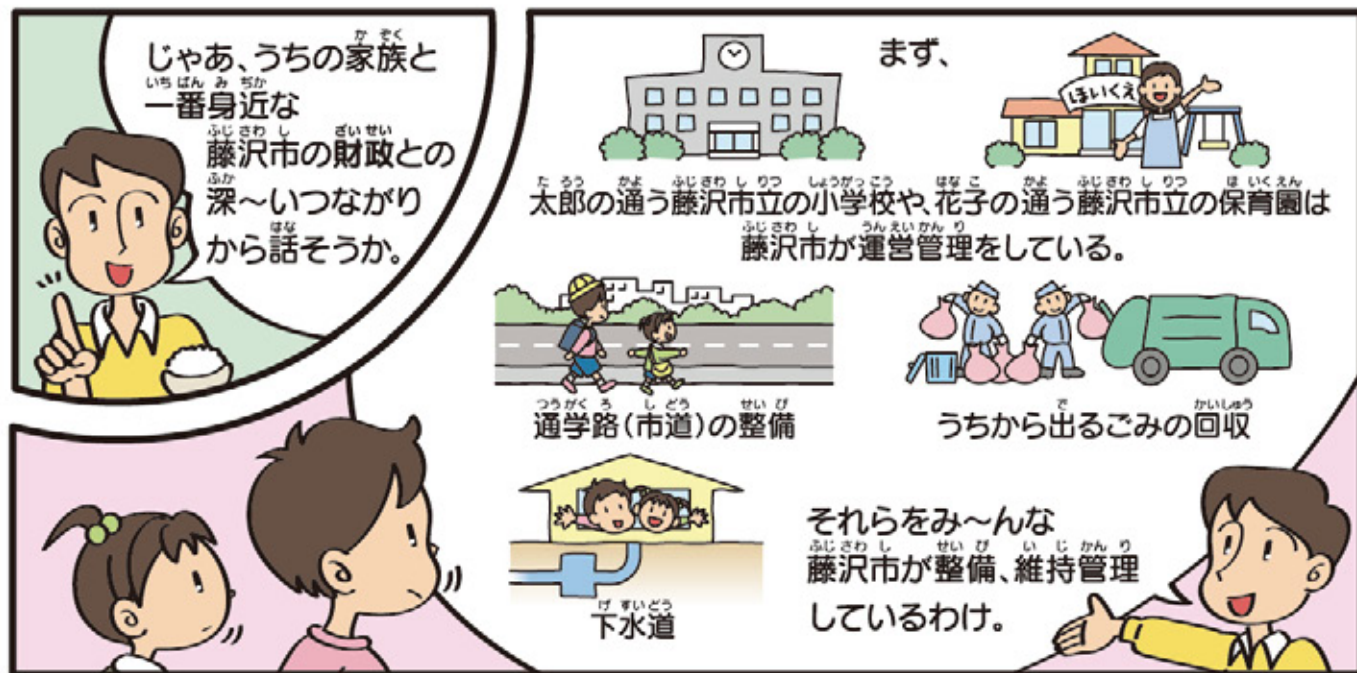
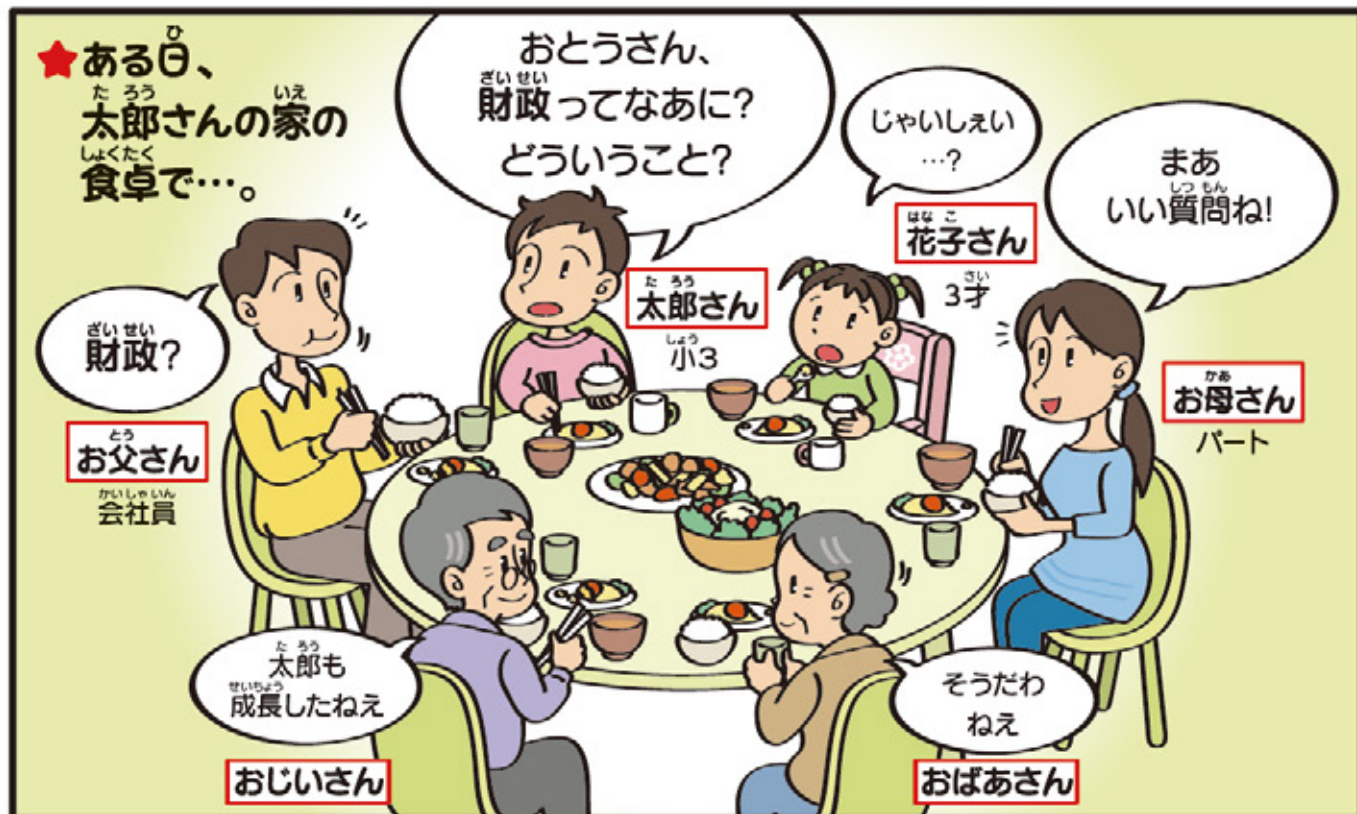
1

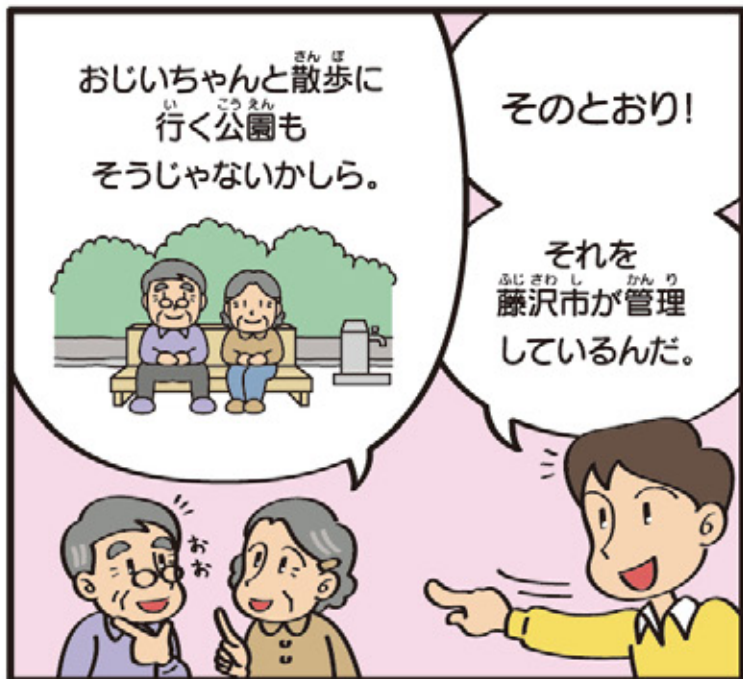
みんながわかる財政のはなし

入門編

みなさんは「財政」ということばを聞いたことがありますか？ 藤沢市の「財政」はみなさんの生活と密接に関係しているといえます。ここでは、主人公 藤沢太郎さん(小学3年生)と太郎さんの家族の生活をとおして、藤沢市の「財政」がどのようなものかをみてみます。

1 「財政」ってどういうこと？





2 「予算」ってどうやって決めるの？



ここで問題です!

Q1. 神奈川県には、横浜市や川崎市などの大都市も
含めて19の市がありますが、
藤沢市の「一般会計」の「予算」の額の多さは
19市のうち何番目でしょうか？

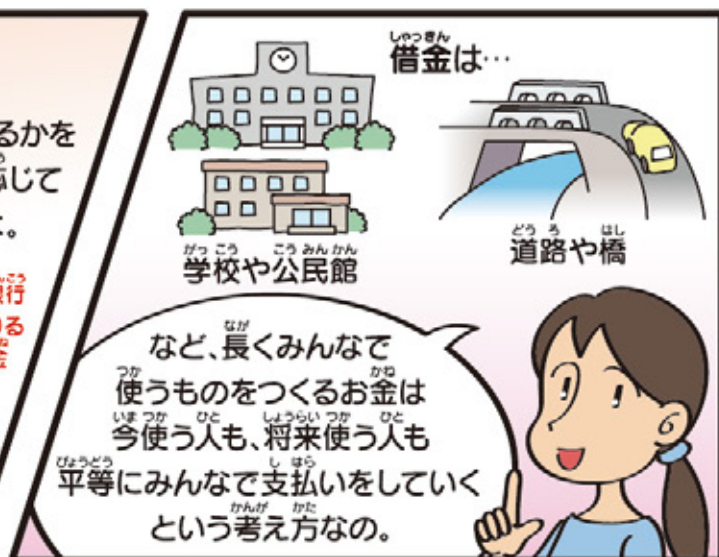
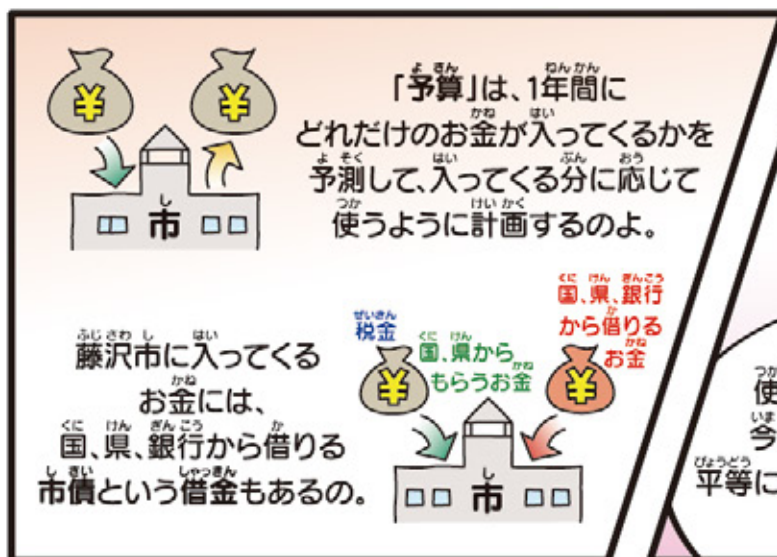
- ①1番目 ②5番目 ③10番目

クイズのこたえは、このページの下にあります。



Q1のこたえ：② 横浜市、川崎市、相模原市、横浜賀市に次ぐ5番目。

3 使うお金はどうやって集めるの？





それではふたたび問題です!



Q2. 藤沢市全体の「借金残高」は市民1人あたりいくらでしょうか?

- ① およそ3万1千3百円
- ② およそ31万3千円
- ③ およそ313万円

クイズのこたえは、このページの下にあります。



コラム

借金してもだいじょうぶ?

藤沢市はどのような理由で借金をするのでしょうか。太郎さんが通う小学校の建て替え工事に例えてみましょう。

もしも...



小学校の建て替えに20億円以上の支払いが必要です

結果



一度に払ってしまうと、小学校、保育園の運営管理、通学路の整備、ごみの回収、下水道の維持管理にお金がたりません

そこで...

学校の校舎などずっと使用していくものは、今使う人も将来使う人も平等にみんなで支払いをしていくことにしています。



藤沢市が集めたお金のほかに借金をします



長い間に分けて借金を返していきます





それでは最後の問題です!

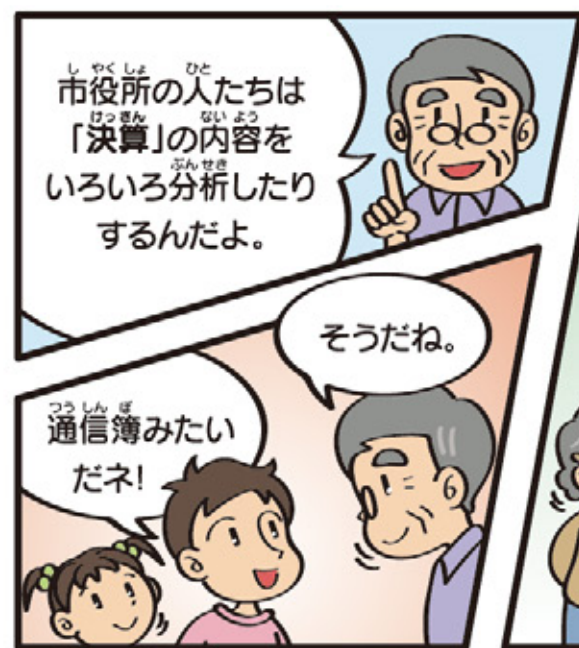
Q3. 藤沢市の「貯金」(「基金」)は
市民1人あたりいくらでしょうか?

- ① およそ5千3百円
- ② およそ5万2千7百円
- ③ およそ52万7千円

クイズのこたえは、このページの下にあります。



4 使ったお金はどうやって確認するの?



入門編はここまで。次のページからは「財政」の詳しいことが書いてあります。

© 2018 藤沢市 財政課

2

もっと知りたいあなたに 平成30年度予算を見てみよう

1 市のお財布はどうなっているの？

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。つまり、3つのお財布があって、お金の出し入れをしています。



1,385億
5,300万円

一般会計

一番大きいお財布が「一般会計」です。

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を管理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金を出し入れするお財布です。平成30年度の当初予算の額は、1,385億5,300万円になっています。

次のお財布は「特別会計」です。

それぞれのお金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。藤沢市には、「国民健康保険事業費」や「区画整理事業費」など7つの特別会計があります。

760億
6,025万円

特別会計

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費……………29億6,401万円
- 墓園事業費……………5億7,762万円
- 国民健康保険事業費……………389億7,174万円
- 柄沢特定土地区画整理事業費……………5億8,048万円
- 湘南台駐車場事業費……………6,098万円
- 介護保険事業費……………273億275万円
- 後期高齢者医療事業費……………56億267万円

428億
7,892万円

公営企業会計

最後のお財布が「公営企業会計」です。

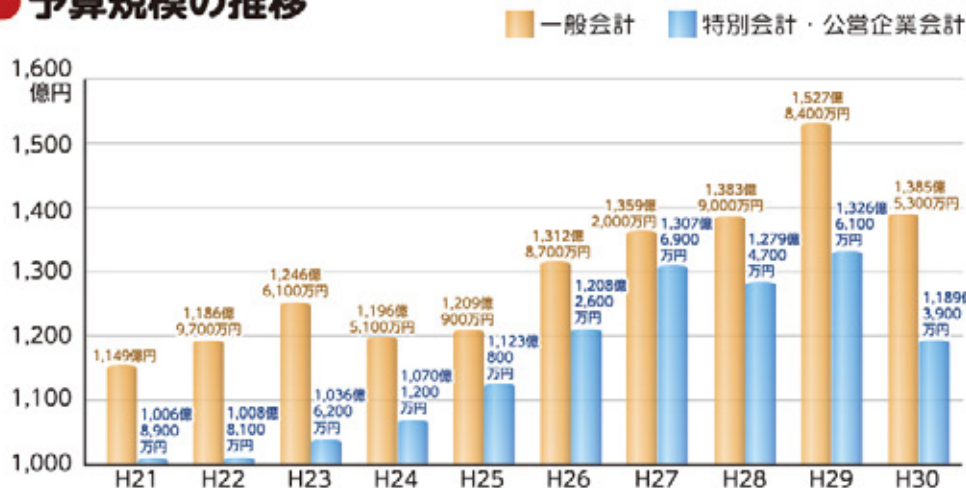
民間の会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。藤沢市には下水道と市民病院の2つの公営企業会計があります。

- 下水道事業費……………205億6,717万円
- 市民病院事業……………223億1,175万円



全会計 **2,574億9,217万円**

● 予算規模の推移



平成30年度当初予算では、厳しい財政状況を踏まえ、より一層の歳出削減・歳入確保に努めました。一般会計の当初予算は、市役所本庁舎整備事業の終了などにより、前年度の当初予算に比べ減少しています。特別会計・公営企業会計の当初予算は、国民健康保険事業の制度改正や下水道事業費における建設改良費の減などにより、前年度の当初予算に比べ減となっています。

2 市の歳入(1年間の収入)はどんな状況なの？

では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成30年度の歳入がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入には、自主財源と依存財源があります。

自主財源
935億217万円

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。



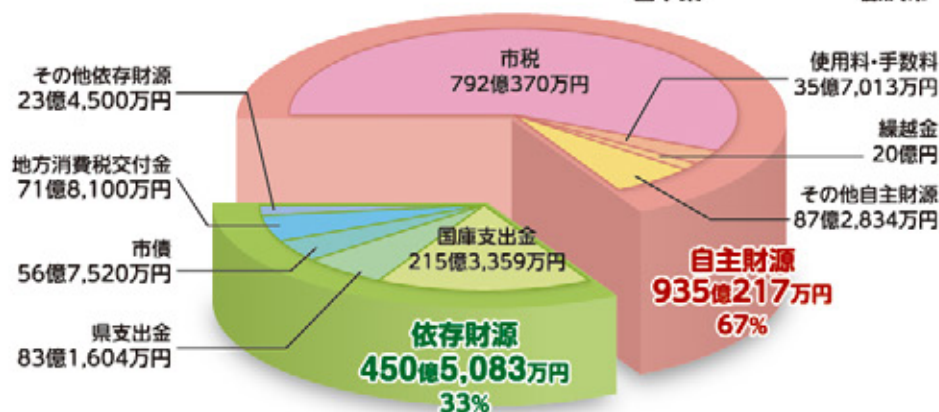
依存財源
450億5,083万円

道路や施設をつくる時に国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。



● 平成30年度 歳入予算の内訳

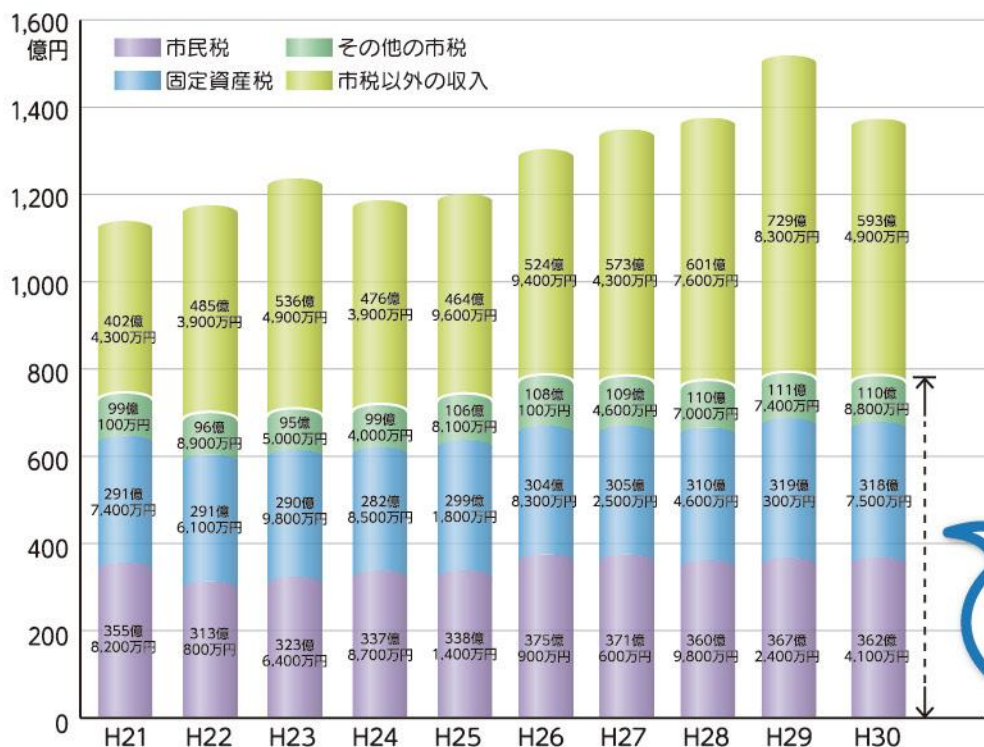
藤沢市は自主財源の比率が高いのが特徴です。





歳入のうち、中心となる市税についてもう少し詳しく見てみましょう。

●一般会計歳入予算に占める市税の推移

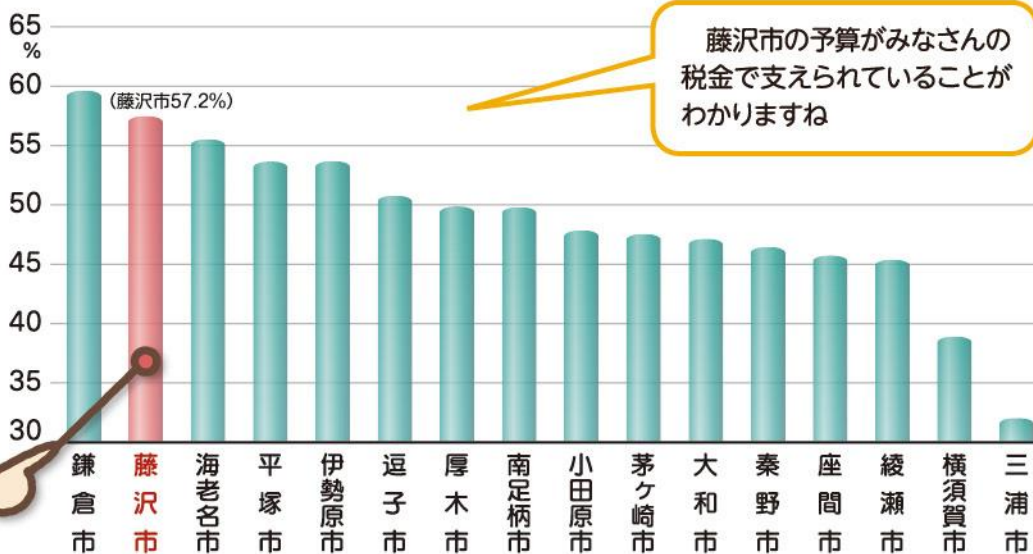


歳入総額
1,385億5,300万円の
57.2%が市税

平成30年度予算の市税収入は、法人市民税や固定資産税の減額を見込み、前年度比で約6億円減の約792億円とありますが、基金繰入金や地方債の減額などにより、歳入全体に対する市税の割合は増加しました。

●歳入予算に占める市税の割合(県内16市との比較)

藤沢市は
県内16市中
第2位です



藤沢市の予算がみなさんの税金で支えられていることがわかりますね



(横浜市、川崎市、相模原市を除く16市)

3 市の歳出(1年間の支出)はどんな状況なの？

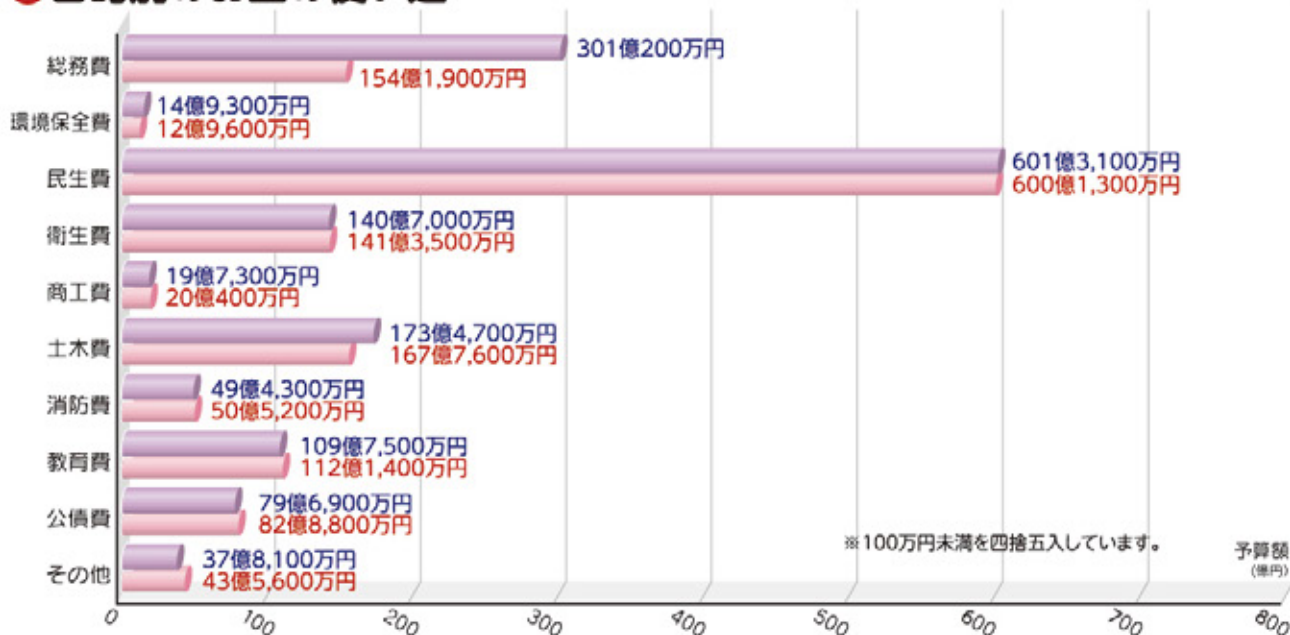
入ってきたお金は、どのように使われているのでしょうか。今度は歳出について見てみましょう。

市では、子育てや福祉のほか、道路や学校などを作ったり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、さまざまな事業にお金を使っています。



● 目的別のお金の使い道

■ 平成29年度 ■ 平成30年度



総務費
市民センターや市民会館の運営、広報ふじさわの発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。

環境保全費
交通安全や防犯対策、公害防止や緑地の保全などに使われます。

民生費
保育園の運営、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉に使われます。

衛生費
ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営などに使われます。

商工費
商店街や中小企業を応援したり、観光施設の管理などに使われます。

土木費
道路や橋を整備したり、公園を作ったり、市営住宅の管理などに使われます。

消防費
消防車や救急車を管理したり、消防署の整備などに使われます。

教育費
小学校や中学校の校舎や体育館、公民館や図書館、スポーツ施設の整備や運営に使われます。

公債費
大きな施設や道路を作るときに、国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。

その他
農業や水産業、働いている人や仕事を探している人を応援する事業などに使われます。

消費税率引き上げによる増収分(地方消費税交付金)については、社会保障4経費(年金・医療・介護・子育て)やその他の社会保障施策に使われています。

4 家計簿に例えて見ると

家庭と市役所では、お金の使い道が違うので単純に比べられません、例えば藤沢市の予算を年収500万円(月収41万円)の家計に置き換えてみると…



藤沢市の予算

こうなります。

収 入		支 出	
市 税	792億 370万円	人件費	265億4,243万円
使用料、手数料など	142億9,846万円	扶助費	393億5,368万円
【自主財源合計】	935億 216万円	物件費	242億1,211万円
国・県支出金など	393億7,564万円	投資的経費・維持補修費	130億4,022万円
市債の発行	56億7,520万円	公債費	82億8,615万円
【依存財源合計】	450億5,084万円	繰出金・補助費など	245億1,620万円
		積立金・貸付金など	26億 221万円
収入の合計	1,385億5,300万円	支出の合計	1,385億5,300万円

1カ月の家計簿に例えると…

こんな感じになります。

収 入		支 出	
お父さんの給料	23万4,000円	食 費	7万8,000円
お母さんのパート代	4万2,000円	医療費・保育料	11万6,000円
【給料などの合計】	27万6,000円	光熱水費や被服代	7万2,000円
その他臨時収入	11万7,000円	家の増築・修理、家財購入	3万9,000円
銀行からの借入	1万7,000円	住宅ローン返済	2万4,000円
【臨時収入の合計】	13万4,000円	子どもへの仕送り	7万3,000円
収入の合計	41万円	貯 金	8,000円
		支出の合計	41万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高) 656億1,417万円 家計簿に例えると 236万8,000円
 預貯金の残高(基金残高) 190億 590万円 家計簿に例えると 68万6,000円

※平成28年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお父さんやお母さんの給料で約67%を占めています。

支出では、医療費やローンの返済、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が大きいですね。



3

平成28年度決算をしてみよう


1 今度は平成28年度普通会計決算から藤沢市の台所事情を見てみましょう。

● 性質別のお金の使い道

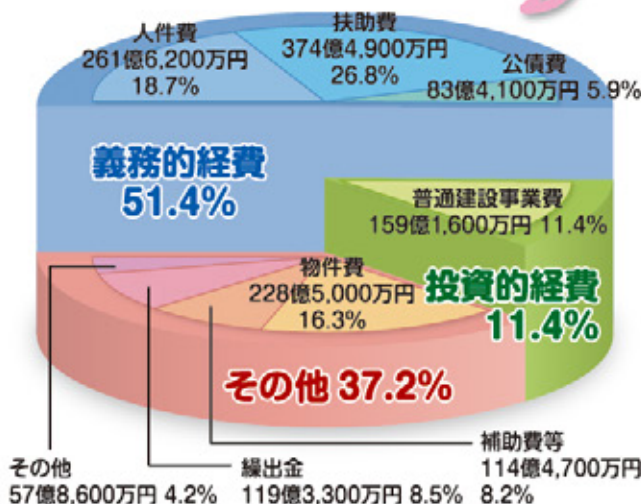

総額1,398億8,400万円



扶助費
生活困窮者、子ども、高齢者、障がい者などを援助するために使われます。




繰出金
国民健康保険事業や土地区画整理事業などに対して医療費や建設費を援助するために使われます。

公債費
国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。



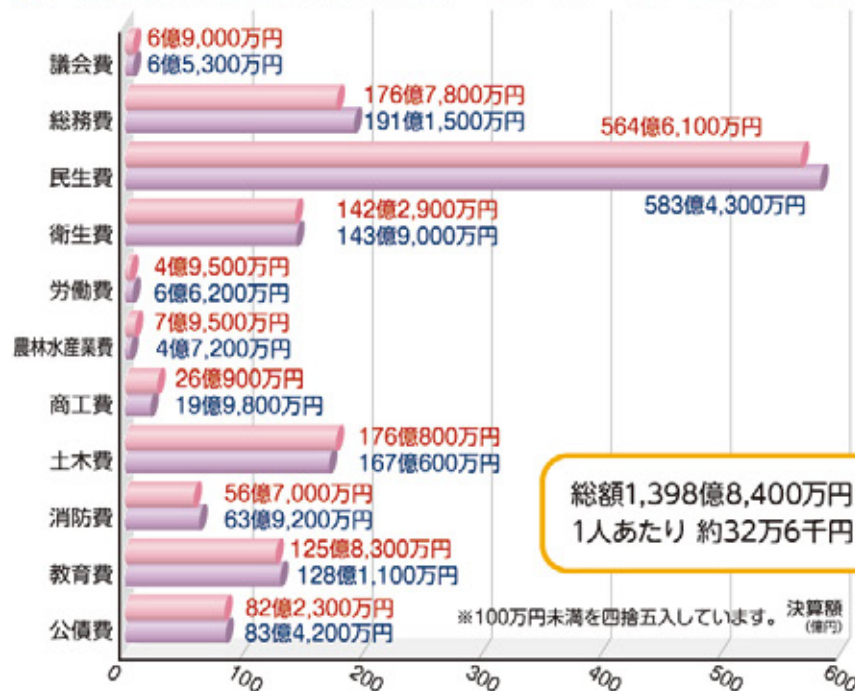
普通建設事業費
道路、橋りょう、公園、学校などの社会資本の整備に使われます。



補助費等
下水道事業や市民病院事業に対する負担金、幼稚園や保育所への補助金などに使われます。

● 目的別のお金の使い道

平成27年度 平成28年度



平成29年3月31日現在 藤沢市人口428,846人

★ 普通会計とは？

他市町村との比較に使います
市町村ごとに会計の範囲が異なり、財政状況の比較が困難なため、統計上用いる会計区分です。
藤沢市の普通会計は、一般会計と3つの特別会計(墓園事業費、北部第二(三地区)土地区画整理事業費、柄沢特定土地区画整理事業費)の一部を合わせたものです。



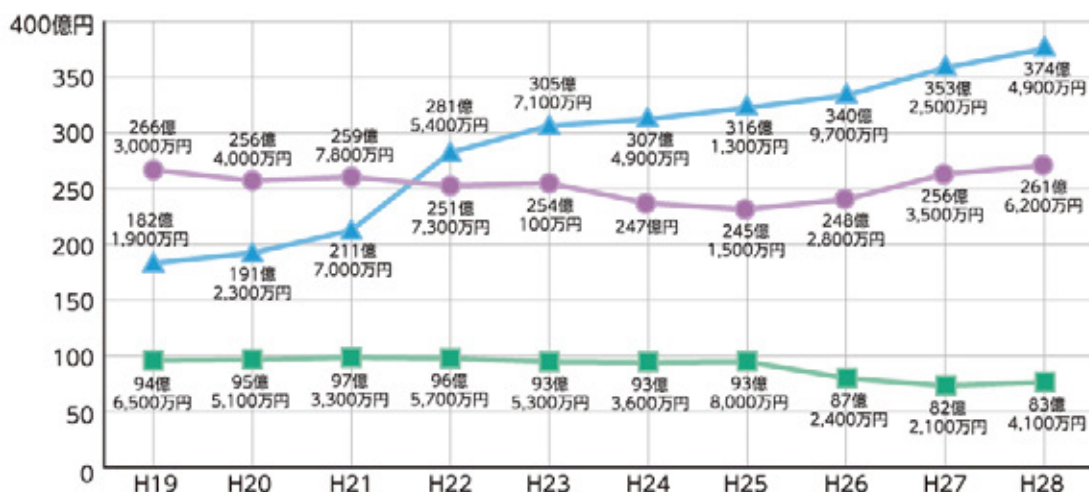
2 義務的経費について見てみましょう。

人件費、扶助費、公債費は毎年の支出が義務づけられ節減することが難しいため「義務的経費」と分類されます。

義務的経費の割合が高くなると自由に使えるお金が少なくなり、新しい市民サービスや公共施設の建設などが難しくなります。



● 人件費、扶助費、公債費の10年間の推移

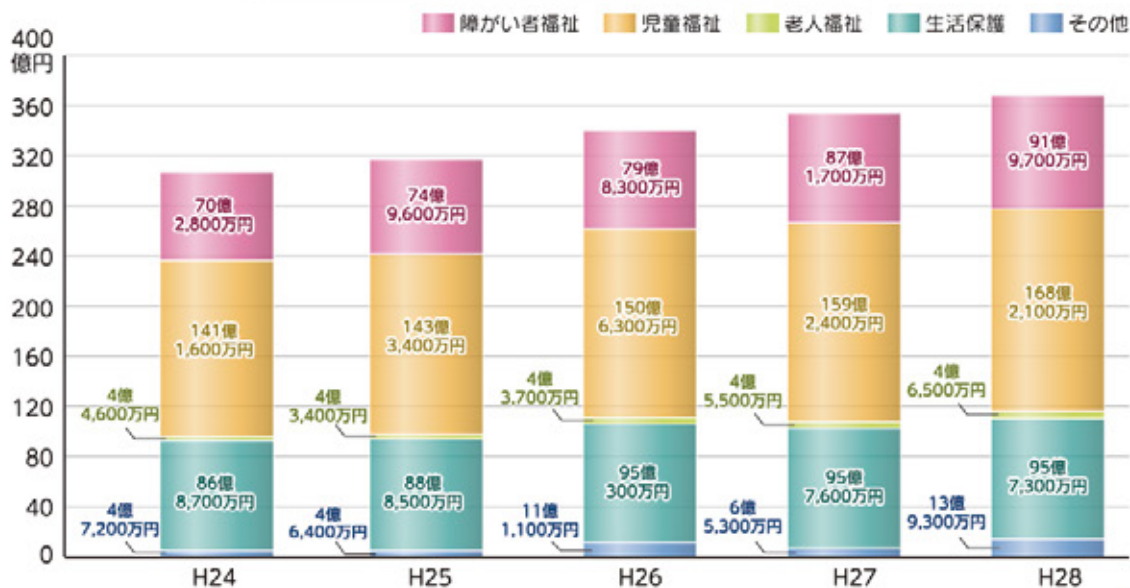


扶助費が増えているね



- 人件費は、増減はありますがほぼ横ばいで推移しています。
- 扶助費は10年間で約192億円増加しました。平成28年度は、年金生活者等支援臨時福祉給付金や児童保育委託費などの増により、前年度比で約21億2千万円の増加となっています。
- 公債費は、10年前より約11億円減少しています。

扶助費は何が増えているのでしょうか？

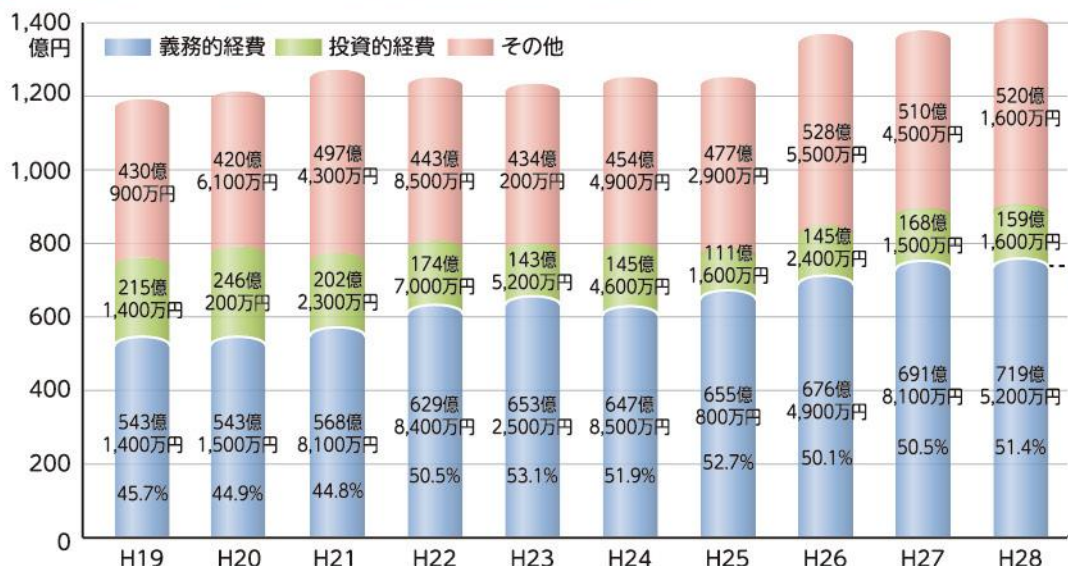


障がい者、子ども、生活困窮者に対する扶助費が増えています。4年前と比較し全体で約67億円の増加(障がい者福祉費が約22億円、30.9%増、児童福祉費が約27億円、19.2%増、生活保護費が約9億円、10.2%増など)となっています。

藤沢市は子育て支援に力を入れているんだね



●歳出全体に占める義務的経費の割合



●義務的経費は10年間で約176億円(32.5%)増えました。歳出全体に占める割合は、平成22年度に50%を超えて以降、継続して50%を超える水準で推移しています。

歳出は扶助費をはじめとした義務的経費が増える傾向であることがわかりました。
藤沢市の財政運営は大丈夫なのでしょうが、
二つの指標から見てみましょう。



3 「自主財源比率」は財政の安定度をあらわします。

★自主財源比率とは？

財政の安定度や健全度を示す指標です。

市税や使用料・手数料などの自主財源が歳入全体に対してどの位の割合になるかをあらわし、比率が高いほど財政基盤の安定性があります。

市税・使用料
など

歳入総額

●自主財源比率の推移



全国都市平均は平成19年度以降低下傾向にあり、平成22年度以降は、50%前後で推移しています。藤沢市は67.9%と市民や企業の担税力に支えられ、全国都市平均を上回る高い率となっています。

4 「経常収支比率」は台所事情をあらわします。

★ 経常収支比率とは？

自由に使えるお金がどのくらいあるかがわかります。

社会経済や市民ニーズの変化に的確に応えていくための財源がどの程度確保されているかを示します。算出方法は、

毎年度固定的に支出される経費(※)に使われた一般財源

市税等の経常的な一般財源

です。

※人件費、扶助費、公債費などです。

家計における食費やローンの返済額の割合と同様に、その**比率**が低ければ自由に使えるお金が多くなります。



★ 一般財源とは？

使い道が特定されない、どの事業にも使える収入のことです。主なものに市税、国からの譲与税、赤字債である臨時財政対策債などがあります。

それに対して、国や県からの補助金など、使いみちが決まっている収入を特定財源といいます。

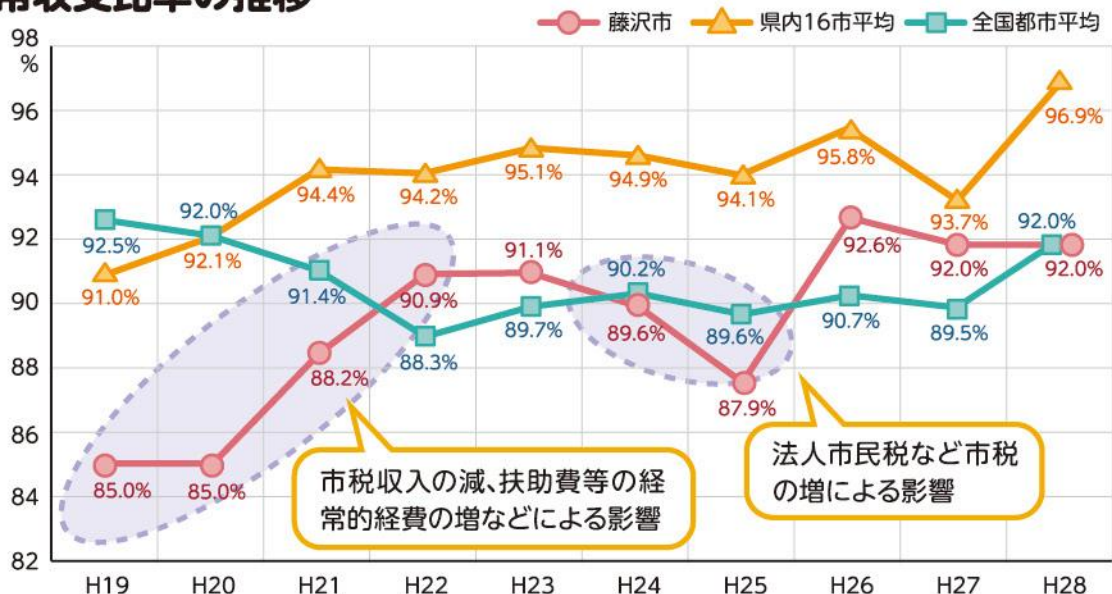
臨時財政対策債とは？

国から地方自治体に分配する地方交付税の不足を補うため、不足分の一部を地方自治体が借入れる地方債のことを言い、後年度に元利償還金を地方交付税として国から地方自治体に戻すしくみになっています。藤沢市は普通交付税不交付団体のため発行できません。

※経常収支比率の算定では、分母の一部になるため、臨時財政対策債発行額の減少は、経常収支比率の上昇要素になります。



● 経常収支比率の推移



経常収支比率は一般的に80%程度が望ましいと考えられていましたが、現在では大多数の市が80%を超えており、平成28年度決算の全国都市平均は92.0%となっています。

藤沢市は、平成27年度と同じく92.0%となりました。

5 財政指標ランキングコーナー!!

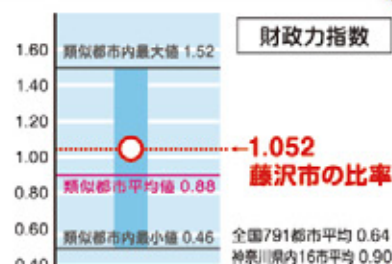
藤沢市の財政指標のランキングがわかるコーナーです。

財政状況を見る財政指標にはいろいろありますが、ここでは主な財政指標を取り上げました。

財政力指数



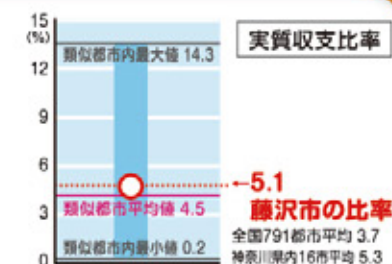
財政力指数は、標準的な行政活動を行うために必要な財源を、どの程度自力で調達できるかを見る指数です。
指数が大きいほど財政力が強く、1未満になると国から普通交付税が交付されます。



実質収支比率



歳入歳出の形式的収支から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額(黒字または赤字額)が、標準財政規模に対してどの位の割合になるかを表すものです。
よりわかりやすく言うと黒字率や赤字率を見る指標です。



経常収支比率



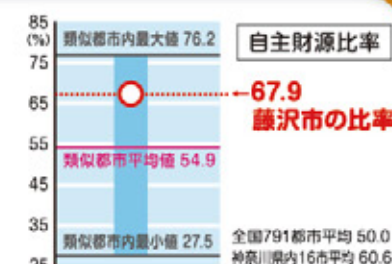
扶助費や人件費など経常にかかる経費に対して、市税や各種交付金など経常に入ってくる一般財源をどの位の割合で使っているかを表すもので、財政の弾力性や硬直度を見る指標です。
この比率が高いほど財源の余裕が少なくなり、政策的に使えるお金が少なくなります。



自主財源比率



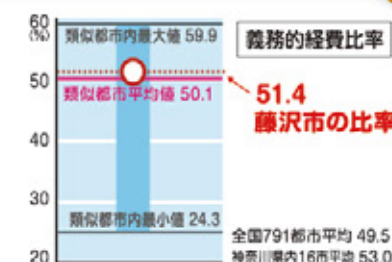
市税や使用料・手数料などの自主財源が歳入全体に対してどの位の割合になるかを表し、財政の安定度や健全度を示す指標です。
この比率が高いほど財政基盤の安定性があります。



義務的経費比率



人件費・扶助費・公債費の義務的経費が歳入全体に対してどのくらいの割合になるかを表し、財政の硬直度を示す指標です。
この比率が高くなると、経常経費が増大して財政構造が硬直化することになります。



※注1:いずれの財政指標も平成28年度決算に基づく財政指標です。

※注2:県内16市は、政令市(横浜市、川崎市、相模原市)を除いた市です。

※注3:類似都市は、人口15万人以上、産業構造の2次及び3次産業が90%以上、3次産業が65%以上の26都市です。

4

藤沢市の借金は どうなっているの？

財政のはなし

平成30年度予算

平成28年度決算

藤沢市の借金

藤沢市の貯金

これから先は？

藤沢市の財政状況

1 どうして借金をするの？



「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」と「毎年の財源を平均する役割」があります。

公共施設の整備には一時的に多額のお金が必要になります。これをその年の収入だけで賅ってしまうと他のサービスが提供できなくなってしまいます。

また、公共施設は現在の市民だけでなく、将来の市民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、市債を活用して世代間で平等に費用の負担をお願いしています。



2 借金はどれくらい？

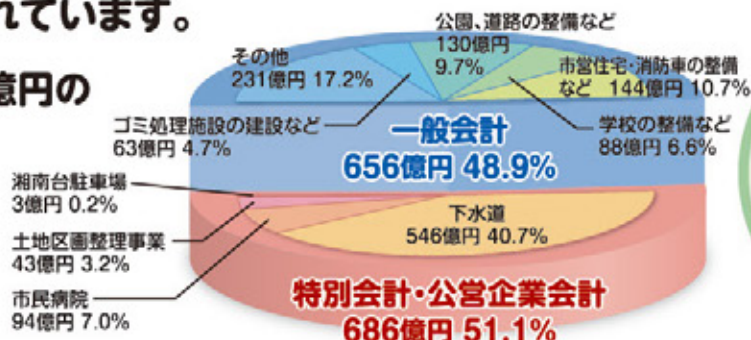
平成28年度決算から見てみましょう。

藤沢市の借金は、平成28年度に約111億円を借り入れて、約129億円返済しました。借金残高は、市全体で約1,342億円です。



借金は、主に公園、道路、学校、下水道などの公共施設の整備に使われています。

借金1,342億円の
使い道

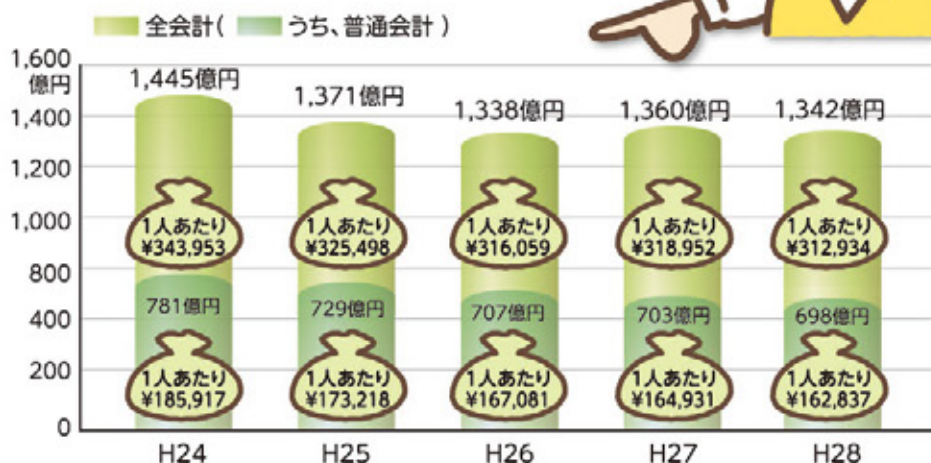


市民1人あたりにすると
平成28年度中に
新たな借り入れ… 約2万6千円
元金返済…………… 約3万円
残高…………… 約31万3千円

借金の額がわかりましたが、額が大きすぎてイメージがつかみにくいですね。
借金残高と借入額について、推移と市民一人あたりの金額を見てみましょう。



● 借金残高の推移



過去に借り入れた借金の返済が進んでいるため、残高は減少傾向です。

★ 借金は他の市と比べて多いの？少ないの？

平成28年度決算では市民1人あたりの借金残高が県内16市の中で最も少なくなっています。

(横浜市、川崎市、相模原市を除く県内16市)

県内で1番少ないんだ!

藤沢市
約16万円

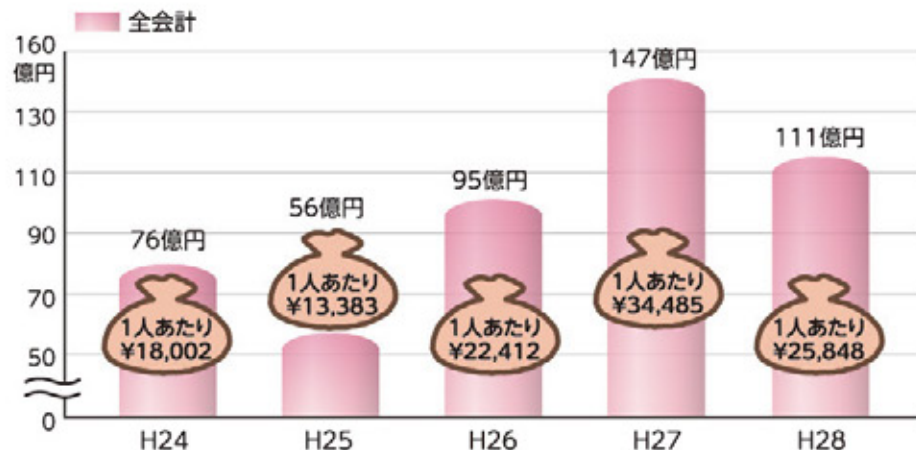
最高 A市
約57万円

16市平均
約27万円

※他市と比較するため普通会計(12ページに説明があります)の数値になります。



● 借入額の推移



平成28年度は本庁舎の整備などで増加しましたが、市民病院事業や下水道事業などで減少したため、全体では約36億円の減になりました。

市債？
国債？

市の借金のことを「市債」
国の借金は「国債」
県の借金は「県債」と呼びます。

どこから
お金を借りて
いるの？

市債は国、県、銀行
などから借りています。

3 借金の返済額は妥当なの？



健全化判断比率(実質公債費比率)から見てみましょう。

借金の返済額が身の丈にあったものかどうかを判断する基準に「実質公債費比率」というものがあります。収入に対して返済額がどの程度の割合になるのか、借金返済の負担が多すぎないかをチェックするものです。

借金漬けになる可能性が高いとされる目安25%に対して、藤沢市は1.3% (平成28年度決算)で良好な状態にあります。

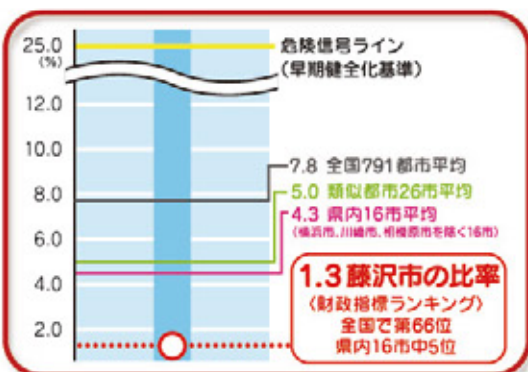


家計に例えると(実質公債費比率)

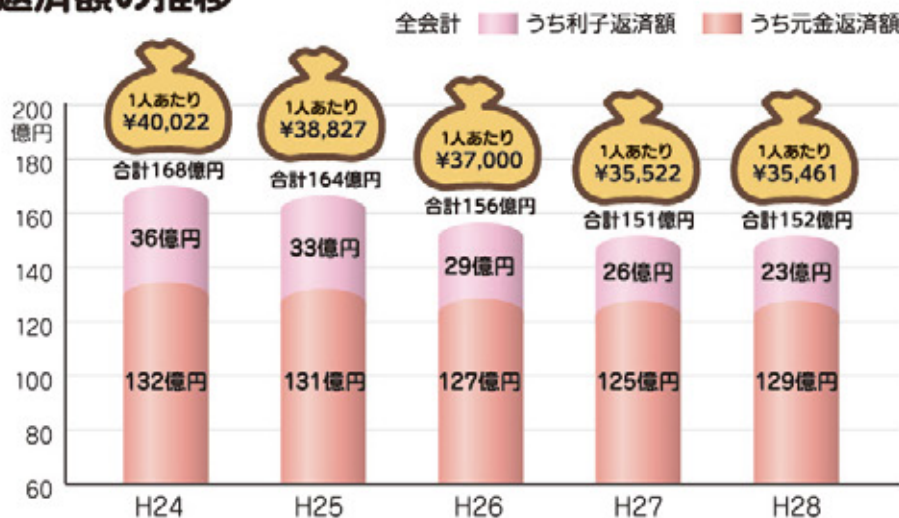
家や車のローン、クレジットカードで買い物をした支払いなど、その年の返済額が年収の25%以上となった場合、借金漬けになる可能性が高いという危険信号を示しています。



● 実質公債費比率(他市との比較)



● 返済額の推移



返済額はおおむね減少傾向にあります。

★ 財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」って？

財政破綻を未然に防ぐことを目的とした「財政健全化法」で、財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」を議会や市民のみなさんに毎年公表することが義務づけられています。

健全化判断比率は、4つの指標①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率があり、赤字や負債(借金返済)の状況など4つの視点から示すものです。

①・②は年間の赤字の割合(①は一般会計等、②は全ての会計を対象)、③は借金の返済額の割合、④は将来の負担が見込まれる負債の割合をチェックするものです。

4 将来の市民に負担はかからないの？



健全化判断比率(将来負担比率)から見てみましょう。

借金や数年間にわたる契約により約束された支払い、職員の退職金など、将来支払わなければならない負債が、収入に対してどの程度なのかを示す指標として、「将来負担比率」というものがあります。負債にかかる負担が大きいかをチェックするものです。

将来財政を圧迫する可能性が高いとされる目安350%に対して、藤沢市は25.4%(平成28年度決算)で良好な状態にあります。

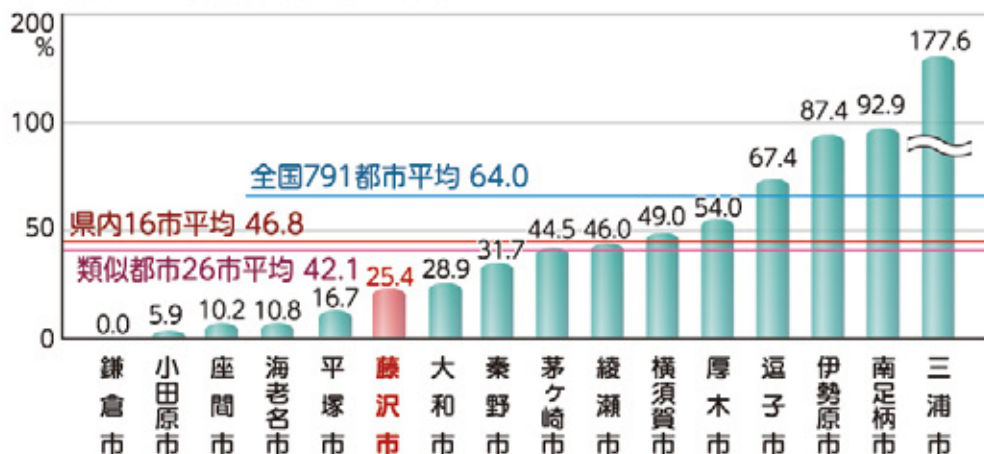


家計に例えると(将来負担比率)

家や車のローンの残高、クレジットカードの支払い残高など、これから返済していかなければならない返済総額が、年収の3.5倍以上になった場合には、今後ローン返済などに追われ家計が成り立たなくなり、経済的苦境におちいる状態にあることを示しています。



● 県内16市将来負担比率



藤沢市の比率は、県内16市中、将来負担が少ないほうから数えて6番目です。

(横浜市、川崎市、相模原市を除く県内16市)

類似都市平均、全国平均からみても良好な状態にあるといえます。



健全化判断比率からみた平成28年度の藤沢市の財政状況は、いずれの指標も危険信号を示す基準値を下回っており、「健全」と言えます。

● 健全化判断比率

比率	藤沢市		早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
	H28	H27		
実質赤字比率	(▲)5.77	(▲)7.21	11.25	20
連結実質赤字比率	(▲)19.21	(▲)19.10	16.25	30
実質公債費比率	1.3	1.8	25	35
将来負担比率	25.4	18.3	350	

単位: %

*実質赤字比率及び連結実質赤字比率の比率欄「-」は、それぞれ比率の算定の結果、実質赤字額がないことを表しています。参考として()にマイナスの比率を表記しています。

★ 早期健全化基準・財政再生基準とは？

市の財政状況が悪化し、危うくなったときにイエローカード(早期健全化基準)で警告をします。

更に悪化し自主的に財政の立て直しができなくなったときは、レッドカード(財政再生基準)で、国・県の関与のもと、確実な財政の立て直しに着手することになります。



5

藤沢市の貯金はどれくらい？

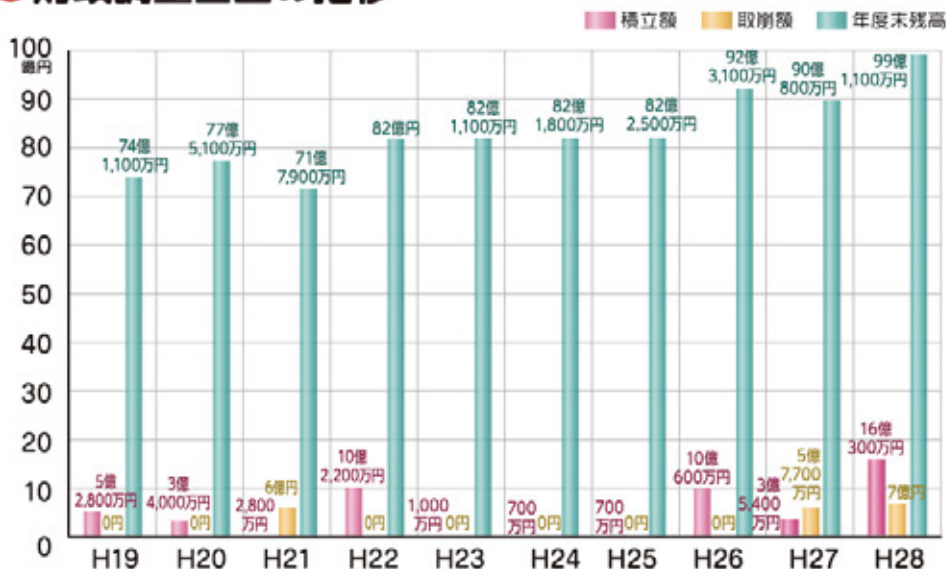
1 借金のことはわかったけど、貯金はあるの？ 平成28年度決算から見てみましょう。

藤沢市には貯金に相当する「基金」というものがあります。基金は、それぞれの基金条例に基づき、寄附金や基金利子などを積み立てて、基金の目的に応じて必要な時におろして使うものです。藤沢市は財政調整基金をはじめ、公共施設整備基金、環境基金、愛の輪福祉基金などの基金を持っていて、平成28年度末の総額で約226億2千万円、市民1人あたり5万2千7百円の貯金があります。



※基金数は平成28年度末のものです。

● 財政調整基金の推移



いろいろな基金の中でも、財政調整基金は、年度間の財源の調整やいざという時のために積み立てているものです。

財政調整基金のここ10年間の推移を見てみましょう。



Q 平成28年度には貯金をおろしたということ？

A そうです。平成28年度は、一般財源不足の補てんのため基金を取り崩しましたが、1年間のやりくりの中で約16億円貯金しました。



Q いざという時のためには、貯金があった方が安心だね

A そう、そのために今後も経済状況の落ち込みに伴う税収減による財源不足や、災害への備えなどのために、可能な限り財政調整基金に積み立てていく必要があります。

6

これから先の藤沢市の財政は？

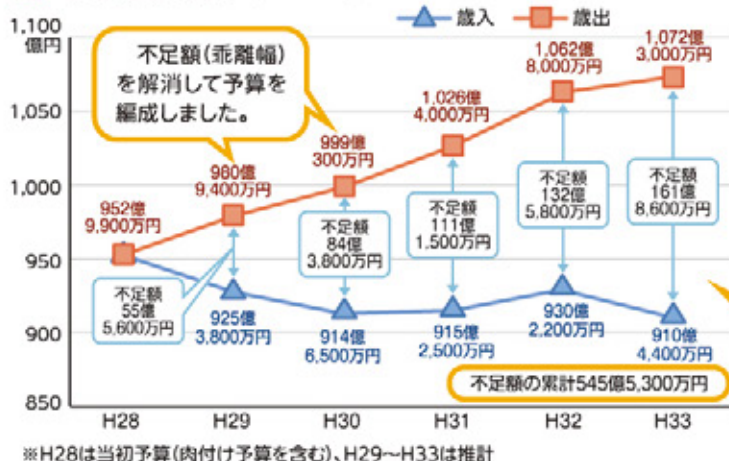
1 将来も藤沢市の財政は大丈夫なの？

これからの藤沢市のまちづくりでは、数多くの事業を計画しており、これらを実施していくためには多くの財源が必要となります。

収入の根幹となる市税収入は、経済情勢や税制改正など不確定要素はあるものの、中長期的には横ばいあるいは減少傾向で推移すると予測しており、財源確保がとても大きな課題です。



●中期財政フレーム（一般財源ベース・平成28年11月時点）



歳出面では、**少子超高齢化を背景とした扶助費などの増加や、市民センターや保育園、小学校などの老朽化した公共施設の再整備**に要する経費の増加が今後も予測されることなどから、より厳しい財政運営が中長期的に見込まれます。

一般財源(市が自由に使うことができる財源)の数値であり、特定財源(使いみちが決められている財源)は含まれていないため、予算総額とは一致しません。

★中期財政フレームとは

今後の中期的(5年間)な財政見通しのことです。

藤沢市が平成28年11月に公表した中期財政フレームでは、一般会計予算の歳入(市税など)、歳出(扶助費や公共施設再整備の費用など)を一般財源ベースで試算したところ、5年間の累計で約545億円の財源不足が生じる見込みとなりました。中期財政フレームは、平成30年度に更新を行う予定です。

2 これからどうやって財政運営を行っていくの？

これまでは健全財政を保ってきましたが、これからは歳入が減少傾向にある一方、歳出は増加傾向にあることから、大変厳しい財政運営が見込まれます。

中期財政フレームにおける財源不足は、現在計画している事業をすべて予定どおりに実施した場合の見込額であり、毎年度の予算の編成にあたってはこの不足額を解消していかなければなりません。

今後は緊急性の高い事業を優先的に行うことや、事業を見直すことなどにより、歳出を抑制し、また歳入面においては、国・県補助金等の積極的な獲得のほか、市債や基金の効果的な活用などにより、財源確保に努める必要があります。平成29・30年度予算編成では各年度の財源不足を解消することができましたが、実施を先送りした事業もあることから、今後も継続的に中期的な財政見通しを立てながら、こうした歳入歳出両面での対策を行い、健全財政の維持に取り組んでいきます。

7 財務書類4表でわかる 藤沢市の財政状況

1 財務書類4表ってどんなもの？

①どのような資産を持っているかなどがわかる**貸借対照表**、②行政サービスにどれだけ費用がかかっているかなどがわかる**行政コスト計算書**、③純資産が前年度に比べ、どのように変動したかがわかる**純資産変動計算書**、④現金の変動がわかる**資金収支計算書**の4つの書類のことです。市では、この財務書類4表の作り方を変える地方公会計制度改革に取り組んでいます。



Q 地方公会計制度改革って何をするの？



A

現在、藤沢市を含め多くの地方自治体が単式簿記・現金主義会計で作成している財務書類を、企業会計において使用されている複式簿記・発生主義会計(*)に基づいて、全国の地方自治体と同じ基準で作成しようとする取り組みのことです。

同じ基準で作成することにより、他の地方自治体とより正確な比較ができるようになります。
※発生主義会計…お金のやり取りの原因となる事実が発生した日を基準にしたもので、これからの支払いや受け取りの予定が決まっているお金の状況なども明らかになります。

Q どうして公会計の改革が必要なの？



A

現在の制度では、ストック情報やコスト情報が不足しているといわれています。ストック情報とは行政サービスを実施する上で市が持っている全ての資産や負債などの財産情報です。

コスト情報は市民サービスの提供に必要な総費用の情報です。

これらの情報を十分に開示するためには、公会計の改革が必要なのです。



Q 具体的にはどのようなことをしていくの？



A

平成27年1月に、国から統一的な基準による財務書類を作成するよう要請が出されたことを受け、藤沢市では、平成27年度からの3年間で公会計改革を行い、平成29年度に新しい基準で財務書類を作成しました。

統一的な基準による財務書類では、複式簿記の導入により伝票単位で仕訳を行うことや、所有する資産を一覧にした固定資産台帳を作成することなどの特徴があります。また、全国の自治体と同じ基準で作成していますので、財政状況の比較・分析が行いやすくなります。

将来的には、事業別や施設別の財務書類を作成することにより、市の財政状況や施策の情報をよりわかりやすく説明することや、公共施設の老朽化対策や予算編成などにも活用することができるようになります。



Q 貸借対照表って何だろう？

A 貸借対照表は「ある一時点において市がどのような資産を持っているか、また、その資産をどのように手に入れたか」を表すもので、ストック情報について確認することができます。



これまでの会計では見えづらかった資産についての情報はこの表によって確認できます。

資産の部 ● 固定資産 ● 有形固定資産 ● 無形固定資産 ● 投資その他の資産 ● 流動資産 ● 現金預金 ● 未収金 ● 基金 など 合計 ○○○円	負債の部 ● 固定負債 ● 流動負債 合計 ○○○円 純資産の部 ● 固定資産等形成分 ● 余剰分(不足分) 合計 ○○○円
--	---

資産の部では、市が持っている道路や学校などの価値をお金で表しています。

貸借対照表の右側(負債の部、純資産の部)では、資産をどのように手に入れたのかを示しています。



負債の部と純資産の部は、資産をどのように手に入れたのかを財源ごとに一覧にしたものです。

資産の部 ● 固定資産 ● 有形固定資産 ● 無形固定資産 ● 投資その他の資産 ● 流動資産 ● 現金預金 ● 未収金 ● 基金 など 合計 ○○○円	負債の部 ● 固定負債 ● 流動負債 合計 ○○○円 純資産の部 ● 固定資産等形成分 ● 余剰分(不足分) 合計 ○○○円
--	---

負債とは市債償還金など、将来現金が出ていくことを表しているもので、将来世代の負担といえます。

純資産とは市税や国・県からの補助金などで、現在までの世代の負担といえます。

Q では、コスト情報は何で知ることができるの？

A 行政コスト計算書は、市が提供した行政サービスにどれだけ費用(コスト)がかかり、それをどのような収入でまかなったのかを表すもので、コスト情報について確認することができます。

人や物にかかるコストを性質によって分類しています。一番上が経常的な行政コストの合計額です。

保育料、住民票の写しの発行手数料など、サービスを利用した方が支払ったお金の集計です。



① 経常費用	○○○円
● 業務費用	● 人件費 ● 物件費 など
● 移転費用	● 補助金 ● 社会保障給付 など
② 経常収益	○○○円
● 使用料・手数料など	
純経常行政コスト(①-②)	○○○円
③ 臨時損失	○○○円
● 災害復旧事業費など	
④ 臨時利益	○○○円
● 資産売却益など	
純行政コスト(①-②+③-④)	○○○円

災害復旧事業費や資産を売却した際の損失などの集計です。

資産を売却した際の利益などの集計です。

コスト全体から、使用料など行政サービスを利用した方の負担額、臨時損失、臨時収益を差し引いた額を示しています。

②を①で割ると行政サービスを利用している人(受益者)が負担している割合がわかります。残りの割合は市税などでまかなわれています。
(28ページ受益者負担比率参照)

2 藤沢市にはどのくらいの資産があるのだろうか？

貸借対照表を見れば、藤沢市の資産、負債、純資産が一目でわかります。
資産、負債、純資産の割合を円グラフで表すと次のようになります。



● 平成28年度 藤沢市一般会計等 貸借対照表における 資産・負債・純資産の割合



一般会計等とは

新しい基準では、財務書類を作る会計の範囲が普通会計(12ページ参照)から「一般会計等」に変わりました。藤沢市の場合、普通会計に区画整理の宅地造成事業を加えたものとなります。

● 平成28年度 一般会計等貸借対照表

市が持っているすべての資産や負債などのストック状況を表したものが貸借対照表です。

貸借対照表の左側(借方)には資産が、右側(貸方)の上部には資産の取得のために借り入れた借金などの負債が、右側(貸方)の下部には、借金以外の資産取得の財源である純資産がそれぞれ表示されます。

$$\text{資産} = \text{負債} + \text{純資産}$$

平成29年3月31日現在

	借方	貸方	
	[資産の部]	[負債の部]	
土地、建物、構築物、備品など	1. 固定資産 8,661.9億円	1. 固定負債 903.2億円	借り入れた市債のうち翌々年度以降の償還予定額
ソフトウェアなど	(1)有形固定資産 8,091.9億円	(1)地方債 622.0億円	全職員が年度末に自己都合退職したと想定した場合の退職手当額。最大どれくらいの額が必要か見るためのもの
	(2)無形固定資産 4.7億円	(2)長期未払金 89.4億円	
下水道などの企業会計や市出資団体などに対する出資金や特定目的基金など	(3)投資その他の資産 565.3億円	(3)退職手当引当金 191.8億円	
	2. 流動資産 173.7億円	(4)損失補償等引当金 -	
	(1)現金預金 51.9億円	(5)その他 -	
国・県の補助金や市税等の収入未済額のうち28年度に発生した分	(2)未収金 24.4億円	2. 流動負債 103.4億円	借り入れた市債のうち翌年度の償還予定額
	(3)短期貸付金 -	(1)1年以内償還予定地方債 77.3億円	
	(4)基金 99.1億円	(2)未払金 11.2億円	
財政調整基金の残高	(5)棚卸資産 -	(3)未払費用 -	
	(6)その他 -	(4)前受金 -	
転居先不明等の理由で市税等の回収が困難であると見込まれる額	(7)徴収不能引当金 △1.7億円	(5)前受収益 -	翌年度支払予定額のうち28年度分を準備費用として積み立てるもの
	資産合計 8,835.6億円	(6)賞与等引当金 14.9億円	
		(7)預り金 -	
		(8)その他 -	
		負債合計 1,006.6億円	これまでに資産や投資の取得財源として充てた額の累計
		[純資産の部]	
		1. 固定資産等形成分 8,761.0億円	使用することができるお金の蓄積額。マイナス(△)の場合は不足したことを表す
		2. 余剰分(不足分) △932.0億円	
		純資産合計 7,829.0億円	
		負債・純資産合計 8,835.6億円	

△表示はマイナスを表します。

藤沢市の資産は、これまでの世代の負担(純資産)によって築かれたものが大部分を占めていることがわかります。

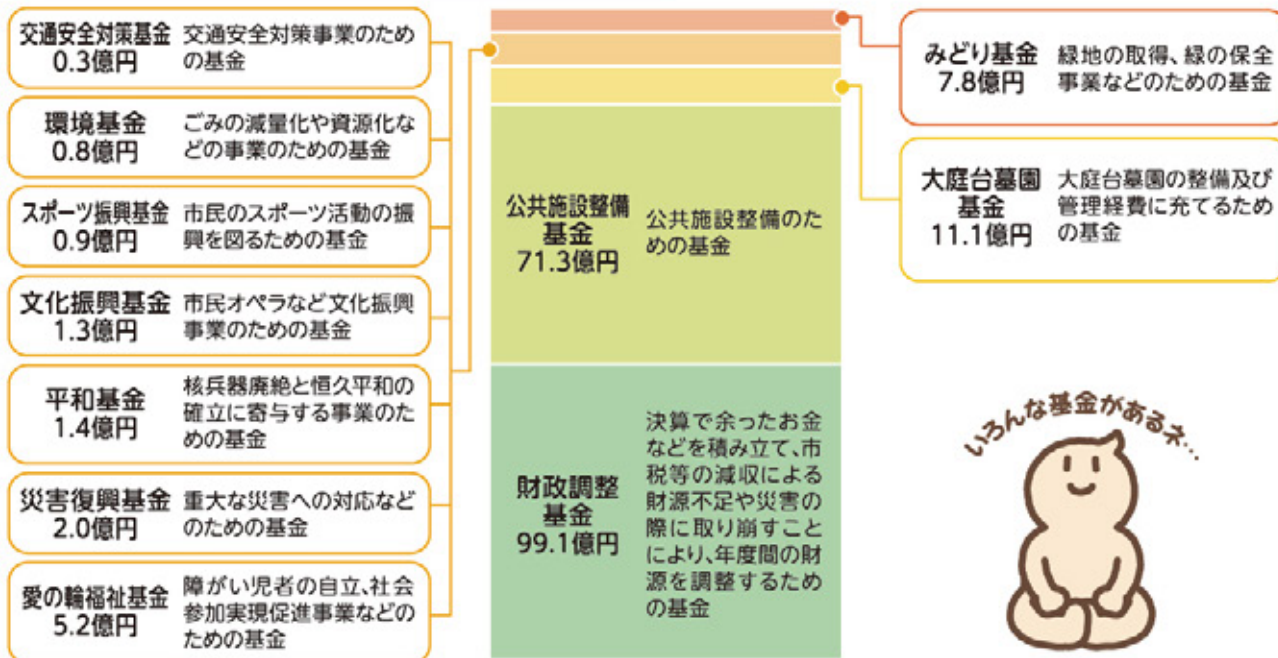
将来世代の負担となる負債は、資産に対して約11.4%となっています。

資産の中には、これまで積み立ててきた市の貯金ともいえる基金があります。

基金には寄附金や基金運用利子などを積み立て、それぞれの基金の目的に応じた事業に使います。



平成28年度 一般会計等 基金残高



藤沢市の資産や金額がわかりましたね。

イメージをつかみやすくするために、市民一人あたりの金額を見てみましょう。



市民1人あたりの貸借対照表の値を見てみると

平成29年3月31日現在
藤沢市人口428,846人

決算書では出てこない所有している建物や土地などの金額がわかった!

市民1人あたりの有形固定資産

188万7千円

負債には、借金だけでなく、引当金なども含まれるから、18ページの額と違うんだね。

市民1人あたりの負債

23万5千円

3 純資産ってなんだろう？

純資産は、貸借対照表の右側(貸方)の下部に表示され、その左側(借方)の資産を取得する際の財源を表し、負債以外の財源を表しています。

純資産額が前年度末(期首)に比べ、どのように変動したかを示したものが純資産変動計算書です。



● 平成28年度 一般会計等会計純資産変動計算書

〔自 平成28年4月 1日〕
〔至 平成29年3月31日〕

	純資産合計	固定資産等 形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	7,809.2億円	8,726.8億円	△917.6億円
純行政コスト(△)	△1,225.1億円		△1,225.1億円
財源	1,231.1億円		1,231.1億円
税収等	916.5億円		916.5億円
国県等補助金	314.6億円		314.6億円
本年度差額	6.0億円		6.0億円
固定資産等の変動(内部変動)		20.4億円	△20.4億円
有形固定資産等の増加		152.0億円	△152.0億円
有形固定資産等の減少		△140.6億円	140.6億円
貸付金・基金等の増加		16.0億円	△16.0億円
貸付金・基金等の減少		△7.0億円	7.0億円
資産評価差額			
無償所管換等	13.8億円	13.8億円	
その他			
本年度純資産変動額	19.8億円	34.2億円	△14.4億円
本年度末純資産残高	7,829.0億円	8761.0億円	△932.0億円

△表示はマイナスを表します。

固定資産等の変動(内部変動)は固定資産の形成、売却などによる会計内部の増減を参考として表しています。

●財務書類4表の関連

資金収支計算書

業務活動収支
+ 投資活動収支
+ 財務活動収支
+ 前年度末資金残高
+ 本年度末歳計外現金残高
本年度末現金預金残高

貸借対照表

資産	負債
現金預金	
	純資産

純資産変動計算書

前年度末純資産残高
純行政コスト
+ 財源
± 固定資産の変動等
本年度末純資産残高

行政コスト計算書

経常費用
経常収益
+ 臨時損失
- 臨時利益
純行政コスト

財務諸表の4表には、次のような相互関係があります。

貸借対照表の純資産は純資産変動計算書の本年度末残高と一致し、貸借対照表の現金預金は資金収支計算書の本年度末現金預金残高と一致し、行政コスト計算書の純行政コストは純資産変動計算書のそれぞれ一致します。

★資産老朽化比率

土地を除く有形固定資産合計額に対する減価償却累計額の割合を算出することにより、その資産が平均どの程度の年数が経過しているのかを表しています。

藤沢市の有形固定資産は、金額ベースで約6割が老朽化していることとなります。

資産老朽化比率は
56.4%です



★受益者負担比率

経常収益は市民のみなさんが支払う市税以外の使用料や手数料などの受益者負担金の総額です。行政コストに対する割合を算出することにより、受益者負担の割合を表しています。

経常収益では経常行政コストの**5.4%**を賄っていることがわかります。

受益者負担比率は
5.4%です



★市の決算と財務書類のちがいは



現在、市の決算はその年の現金ベースです。お金が入ってきて収入となり、お金が出ていって支出となります。

入ってきたお金を支出に充てるため、収入と支出は同じ額となります。

財務書類の貸借対照表では、土地や建物などの資産がどのくらいあるか、債権がいくらあってそのうち現金化されたものがどのくらいあるか、借金が全体でどのくらいあって、いくら残っているかなど、**市全体の資産と借金の状況**がわかるようになります。

地方債や未払金を返済すると、それぞれの残高が減る一方で、支払いに充てた現金預金も減少することになります。



4 藤沢市の行政サービスにはどのくらいのコストがかかっているのだろう？



ごみの収集や福祉サービスの提供など資産の形成に結びつかない行政サービスにどれだけ費用(コスト)がかかり、それをどのような収入でまかなったかを表すものが行政コスト計算書です。

●平成28年度 一般会計等行政コスト計算書 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

【経常行政コスト】

		総額	構成比率
経常費用 a		1,297.2億円	100.0%
 退職手当引当金の当年度発生額 人にかかるコスト	(1)職員給与費	252.1億円	19.4%
	(2)賞与等引当金繰入額	△0.1億円	0.0%
	(3)退職手当引当金繰入額	10.8億円	0.8%
	(4)その他	19.1億円	1.5%
	小計	281.9億円	21.7%
 市の施設等を老朽化などにより補修する経費 物にかかるコスト	(1)物件費	300.3億円	23.1%
	(2)維持補修費	50.6億円	3.9%
	(3)減価償却費	83.8億円	6.5%
	(4)その他	0.7億円	0.1%
	小計	435.4億円	33.6%
市債の支払利息 徴収不能引当金の当年度発生額 その他の業務コスト	(1)支払利息	7.0億円	0.5%
	(2)徴収不能引当金繰入額	0.8億円	0.1%
	(3)その他	6.3億円	0.5%
小計	14.1億円	1.1%	
個人や団体等の活動に対して交付する補助金など 扶助費などの経費 移転支的コスト	(1)補助金等	171.7億円	13.2%
	(2)社会保障給付	293.3億円	22.6%
	(3)他会計への繰出金	89.8億円	6.9%
	(4)その他	11.0億円	0.9%
小計	565.8億円	43.6%	
経常収益 b		70.6億円	
純経常行政コスト c (a - b)		1,226.6億円	
臨時損失 d		0.8億円	
臨時利益 e		2.3億円	
純行政コスト f (c + d - e)		1,225.1億円	

賞与等引当金の当年度発生額

短期間のうちに消費するものにかかる経費
例 需用費、委託料など

有形固定資産のうち土地以外の資産は、使用により毎年資産価値が減少するものと考え、その当年度分

一般会計等から特別会計、公営企業会計への繰出金

いろいろ細かく計算されているんだネ



差引の「純行政コスト」は、市税などの一般財源や国県からの補助金などでまかなっています。

●平成28年度 一般会計等行政コスト計算書における
市民1人あたりの経常行政コスト



市民1人あたりの経常行政コスト 合計 302,492円

5 市の財産のうち現金の動きを見てみよう

貸借対照表の左側(借方)、資産の部に計上されている現金をその支出の性質から3つに分けて、現金の変動を表すものが、資金収支計算書です。

資金収支計算書は、引当金や減価償却費などの現金でない支出を含まないことから、ほかの財務書類と違い、現金のみの表示となっています。市の決算書に一番近い財務書類といえます。



●平成28年度 一般会計等資金収支計算書

〔自 平成28年4月 1日〕
〔至 平成29年3月31日〕

1. 業務活動収支	
業務支出	1,211.1億円
業務収入	1,241.6億円
臨時支出	—
臨時収入	27.7億円
合計	58.2億円 ①

2. 投資活動収支	
投資活動支出	124.0億円
投資活動収入	60.6億円
合計	△63.4億円 ②

3. 財務活動収支	
財務活動支出	77.1億円
財務活動収入	72.5億円
合計	△4.6億円 ③

本年度資金収支額	△9.8億円 ④
前年度末資金残高	61.7億円 ⑤
本年度資金残高	51.9億円 ⑥

前年度末歳計外現金残高	—
本年度歳計外現金増減額	—
本年度末歳計外現金残高	—
本年度末現金預金残高	51.9億円



① + ② + ③ = ④

投資活動収支と財務活動収支は赤字となっており、その赤字分を業務活動収支の黒字分で補っていることがわかります。

④ + ⑤ = ⑥

本年度の収支は赤字となっており、その赤字分を前年度までの黒字分で補っていることがわかります。

わかりやすい藤沢市の財政2018の制作費の一部は
次の企業のみなさまの広告料によって賄われています。

街にいい風 あなたにいい風
SHONAN
藤沢支店 0466-27-6310

 **東京海上日動**

ガスも、電気も、東京ガス。 

 +  +  

東京ガスグループだから、まかせて安心!

東京ガス(株) 神奈川西支店・東京ガスライフバル湘南
東京ガスエネワーク(株) ☎ **0466-47-7130**
藤沢市片瀬92 (月~土 9:00~19:00 日・祝 9:00~17:30)

★ ふるさと納税について

ふるさと納税は、都道府県・市区町村に寄附をすると、寄附額のうち2,000円を超える部分について、一定の上限まで、所得税・個人住民税が控除される制度です。

寄附という形で藤沢市を応援していただくことで、まちづくりの推進や収入の確保につながります。

藤沢市では、インターネットでも寄附の受付を行っています。1万円以上の寄附には、藤沢の魅力を発信するお礼の品をお送りしています。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/zaisei/shise/kifu/furusatonoze/kifu.html>

最後までお読みいただきありがとうございました。

藤沢市の財政について、少しでもご理解いただければ幸いです。

財政課のホームページでは予算書などの資料を公開しています。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/zaisei/index.html>

※藤沢市の借金残高が1秒ごとに変化する「借金時計」も公開しています。

また、お近くの市民センター・公民館、図書館などでも各種資料をご覧いただけます。



藤沢市財政課
ホームページ

わかりやすい 藤沢市の財政2018

平成30年度予算と平成28年度決算のデータにもとづいて作成
2018年3月発行

発行/藤沢市財務部財政課

〒251-8601 藤沢市朝日町1-1

電話 0466-25-1111(代表) 内線2302

FAX 0466-50-8405

E-mail fj-zaisei@city.fujisawa.lg.jp

再生紙を使用しています

※各ページの表・グラフなどの数値について、その積み上げと合計が一致しないところがあります。

※各ページの表・グラフなどの和暦の表示は年度を表しています。

※誌面の都合上、西暦と和暦が混在しています。

ふじさわの
財政のこと、もっと
理解しなきゃ…

